

Raymarine®

A FLIR COMPANY

小型ワイヤレス ディスプレイ

◆ FLIR | Raymarine



Raymarine 製品が気になったら /
🔍 www.ys-product.com で検索

◆ FLIR | Raymarine



製品トラブル /
困ったら
その場で相談

🔍 <http://nav.cx/a5gVt1M>

⚠️ 本製品を弊社イノベーション・プロモーションで
ご購入された方のみご利用可能です。

6.1 トランスデューサのキャリブレーション

Micro-Talk ゲートウェイは、SeaTalkng® ネットワークと MicroNet ネットワークを組み合わせたものです。

Micro-Talk ゲートウェイに初めて電源を入れる前に、すべてのトランスデューサのキャリブレーションが完了していることをご確認ください。これはマスト回転装置では特に重要です。マスト回転装置は、方位ソースの後、方位ソースとは別にリニアライズする必要があります。つまり、方位ソースのために1回、マスト回転装置のために1回、リニアライズを2回行う必要があります。マスト回転装置は、リニアライズされた方位ソースを入力に使用します。

キャリブレーション/リニアライズの方法については、お使いの製品に付属のドキュメントを参照してください。

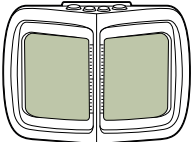
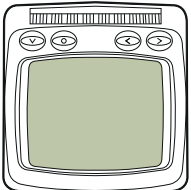
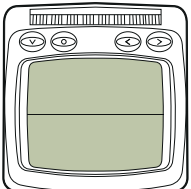
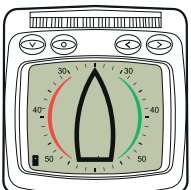

6.2 自動ネットワーク設定

Micronet ワイヤレス製品は、自動ネットワーク設定手順を使用して一緒にネットワーク設定されています。

自動ネットワーク設定は、有効範囲内の互換性のあるワイヤレス製品を同じ Micronet ネットワークに接続します。

自動ネットワーク設定 – 互換性のある Micronet ディスプレイ

自動ネットワーク設定は、以下に示す互換性のある Micronet ディスプレイの1つを使用して開始できます。

製品	説明
	T070 レース用マスターディスプレイ
	T110 多機能ワイヤレスディスプレイ
	T111 多機能ワイヤレスデュアルディスプレイ
	T112 多機能ワイヤレスアナログディスプレイ
	T113 多機能ワイヤレスリモートディスプレイ

自動ネットワーク設定の実行

下の手順に従って、新しいMicronet製品を既存のシステムに追加するか、複数のボックスから新しいシステムを作成します。

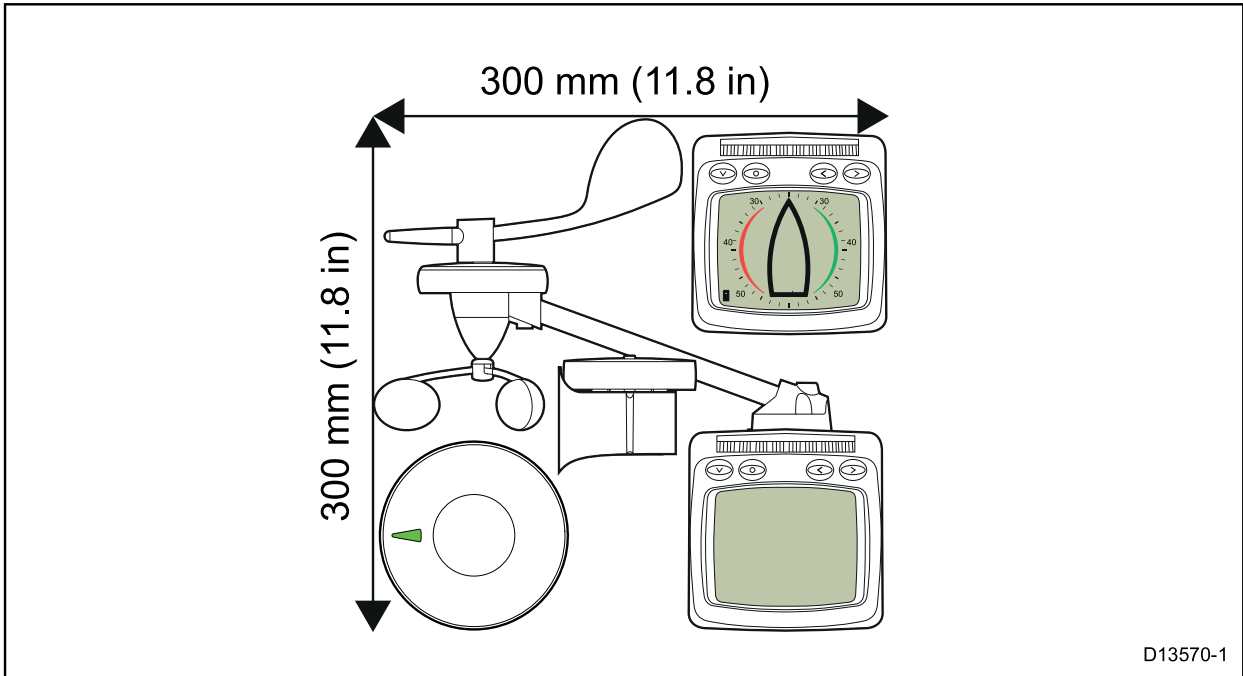
注意:

- 自動ネットワーク設定は、新しい製品を設置する前に実行してください。
- 1つの箱で提供された製品を使用して新しいシステムを作成する場合は、次の手順は必要ありません。
- 自動ネットワーク設定を開始できるディスプレイを選択する必要があります。

- 既存のシステムがある場合は、このシステムから対応可能なディスプレイを選択してください。

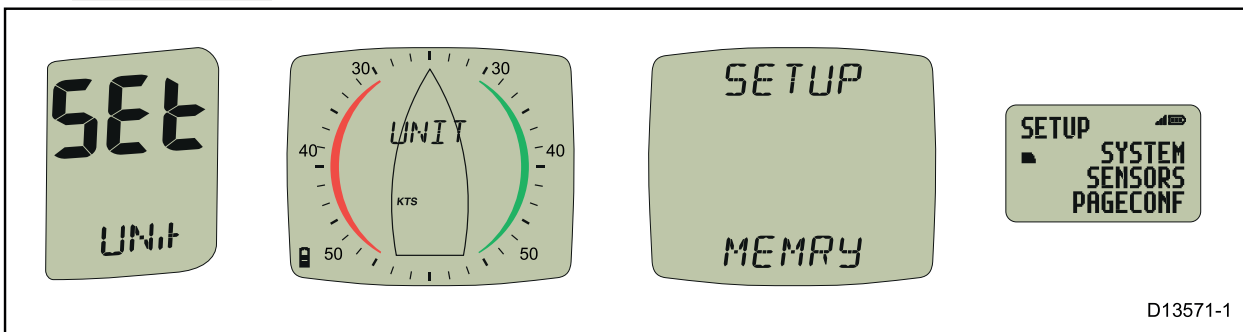
- 外部電源ソースを必要とする製品を12 V DC 電源に接続します。
- すべての新製品を自動ネットワーク設定を行うために選択したディスプレイの300 mm (11.8 インチ)以内の場所に置きます。

ネットワーク接続されている既存の製品を含める必要はありません。



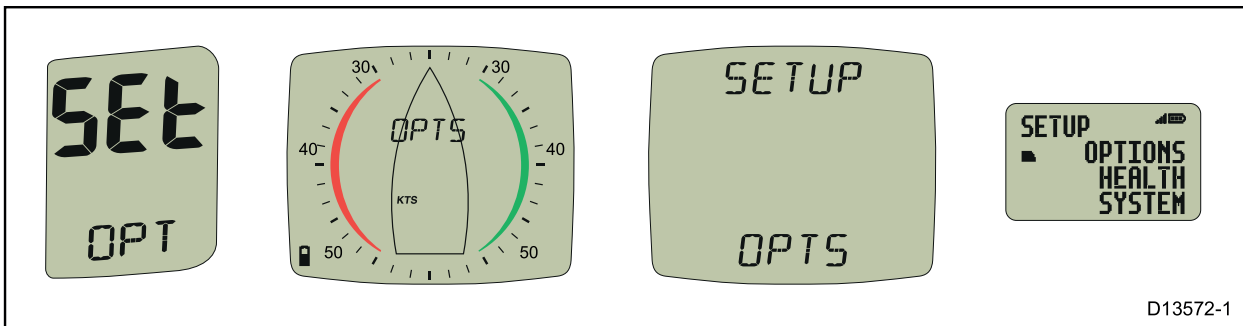
D13570-1

- すべての製品の電源が切れていることを確認します。
- 選択したディスプレイの **下/電源** ボタンを2秒間長押しして、電源を入れます。
- 選択したディスプレイに「レーザー用タイマー」または「風の変化」ページが表示されていないことを確認します。
- セットアップ** ボタンを2秒間押すと、[セットアップ]メニューが表示されます。



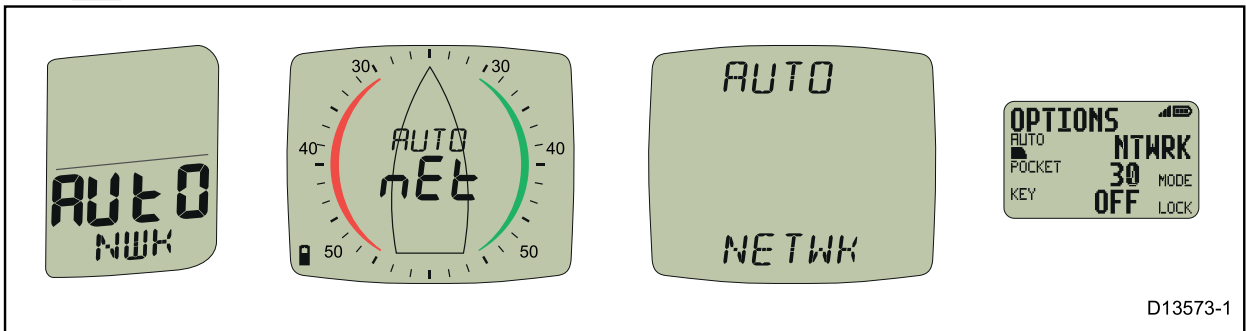
D13571-1

- [オプション]ページが表示されるまで、**下/電源** ボタンを押します。

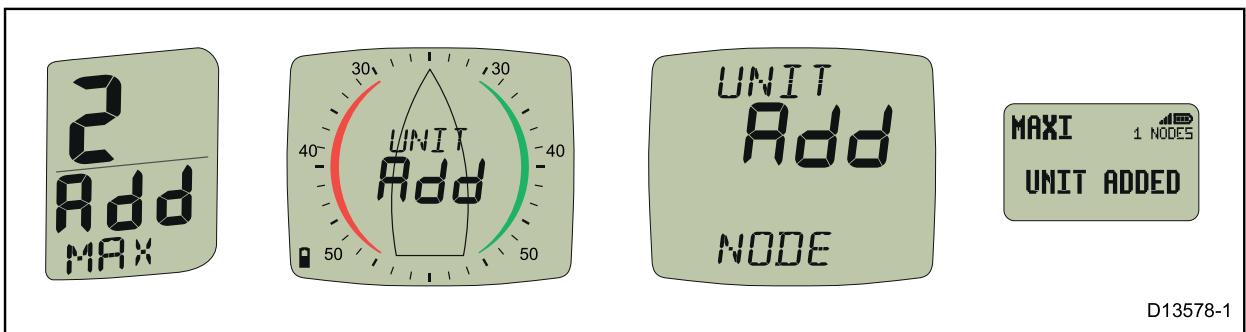


D13572-1

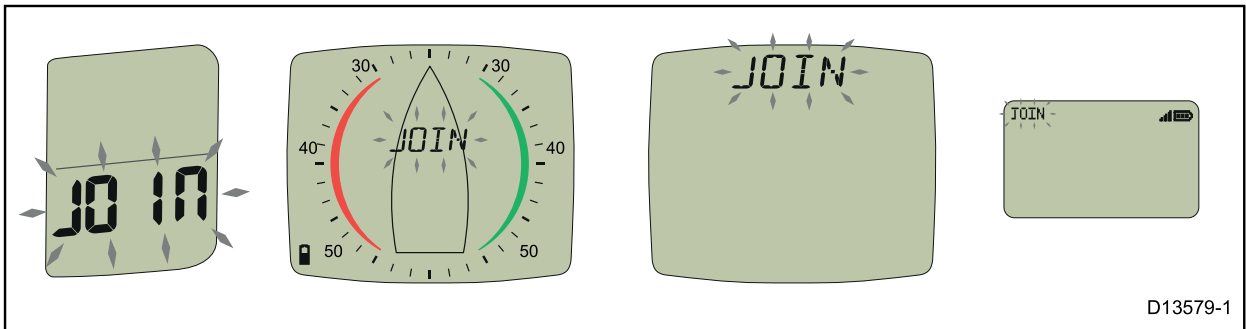
8. [右] ボタンを押すと、[自動ネットワーク設定] ページが表示されます。



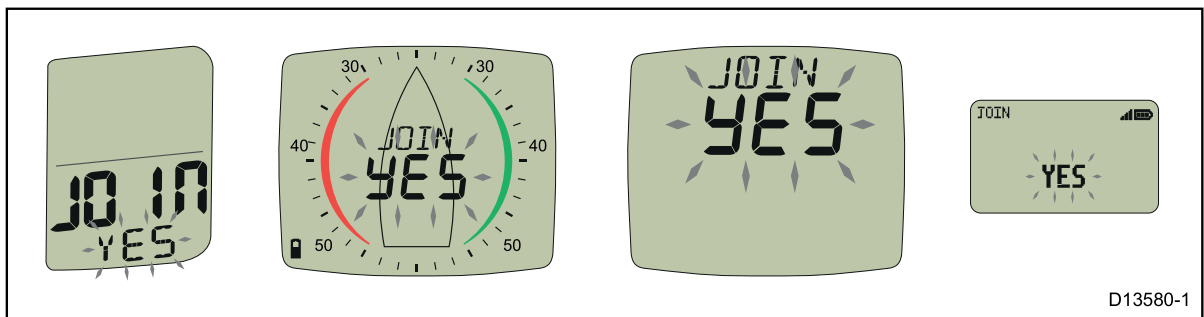
9. [セットアップ] ボタンを押すと、自動ネットワーク設定手順が開始されます。カウントダウンが始まり、選択したディスプレイに「WAIT(待機)」、さらにデバイスがネットワークに加わると「JOIN(参加)」と表示されます。



10. カウントダウンの最後の30秒で、デバイスによってはスイッチがオンになり、画面上に「JOIN(参加)」が点滅する場合があります。これらのディスプレイをネットワークに加えるには、下の手順に従います。



- i. 「JOIN(参加)」というメッセージが画面で点滅しているディスプレイの任意のボタンを押します。ディスプレイに「JOIN YES(参加 はい)」と表示されます。



- ii. 同じディスプレイの任意のボタンを押して確定します。ディスプレイの表示が「DONE(完了)」になります。

25秒以内に確定を完了しないと、「FAIL(失敗)」と表示されます。このメッセージが表示された場合、ディスプレイはネットワークに加えられなかったことを意味します。

カウントダウンが完了すると、選択したディスプレイは自動ネットワーク設定ページに戻ります。[セットアップ] ボタンを2秒間押したままにすると、通常の操作に戻ります。

11. システムをテストします。
 - i. 選択したディスプレイのスイッチを切ります。
 - ii. 選択したディスプレイのスイッチを入れます。

電源の入らないユニットがある場合は、新しいすべてのユニットが選択したディスプレイの 300 mm (11.8 インチ)以内にあり、必要に応じて電源に接続されていることを確認します。
12. すべてのユニットがネットワークに加わるまで、上記手順を繰り返します。
13. 古いユニットを交換する場合は、船舶から取り外します。
14. すべてのユニットが正しく機能していることを確認してから取り付けてください。

Micronetの製品識別

Micro-Talk ゲートウェイは、自動ネットワーク設定プロセスの間、Micronetディスプレイの正常性確認ページを表示しているときとは別な方法で識別されます。

自動ネットワーク設定時、ゲートウェイは NMEA 2000 デバイス (例: 2000、N2000、または N 2000)として識別されます。

Micronetディスプレイの正常性確認ページでは、ゲートウェイはタイプ7デバイス (例: TYP7、TYPE7または TYPE 7)として識別されます。

EMC Conformance

すべてのRaymarine機器は、レクリエーション用の海洋環境で使用するための業界最高水準に設計されています。Raymarine機器の設計と製造は、適切な電磁適合性（EMC）規格に準拠しています。パフォーマンスが損なわれないようにするには、正しいインストールが必要です。

Important



Micronet機器で使用される無線通信システムのため、最大18メートル（60フィート）までのボートでのみ使用することをお勧めします。

他の電子機器と同様に、お客様のMicronetシステムは航法の補助としてのみ機能するように設計されており、恒久的な時計を維持し、状況を把握することは船長の責任です。

1	情報	Page
	1.1導入 -	2
	1.2仕様 -	2
	1.3電力管理とバッテリー寿命-1.4安全性と廃棄性 -	2
		4
2	操作	
	2.1表示情報-	5
	2.2システムのオン/オフ切り替え-	6
	2.3バックライト -	6
	2.4可聴信号と警報-	6
	2.5ユーティリティ -	7
	2.6章とページの操作-	8
	2.7章とページの説明 -	10
3	セットアップとキャリブレーション	
	3.1セットアップと校正モードの入力-	13
	3.2章とページの設定と校正-	13
	3.3値の編集 -	13
	3.4セットアップページの説明 -	14
4	海洋および較正	
	4.1Windの角度と速度の較正 -	18
5	インストール	
	5.1Toolsリストとパーツ -	19
	5.2使用上の注意と位置づけ-	19
	5.3ブラケットの取り付け -	20
	5.4表面実装 -	21
	5.5外部電源接続 -	22
6	保守と故障の検出	
	6.1保守とメンテナンス -	23
	6.2障害の発見とテクニカルサポート -	23
7	保証情報	

1 情報

1.1 前書き

お使いのMicronetディスプレイは、環境によって寿命があります。機能はすべての状況でバックされ、非常に目に見えますが、現在の需要は非常に低く、サプライは非常に効率的で、太陽光発電ディスプレイは自給自足です。Micronetの範囲内の他のディスプレイと組み合わせると、このディスプレイは完全なナビゲーションシステムの一部になります。

1.2 仕様

数字の高さ: 7mm (0.28")

バックライト: 3レベルの昼光遮断

システム全体またはローカル制御

電源:

ソーラーパワー

一日300時間の自主性、最も明るいバックライトでは7泊、無償で経済バックライトでは20泊。

ディスプレイ単位: 風速 (ノット、メートル/秒、ビューフォート)

警報:

紛失したネットワークの可聴アラーム

重量:

285g (0.63lbs)

動作温度: -10^o to +60^oC (14^o to 140^oF)

周波数:

868 MHz or 916 MHz


















このユニットは、T113リモートディスプレイ

1.3 電源管理とバッテリー寿命


あなたのmn100ディスプレイを可能にするのは、電力管理に対するRaymarineの革新的なアプローチです。エレクトロニクスで使用される電力量を減らし、電力を供給するための太陽の可能性を最大化することによって、mn100ディスプレイは事実上永久的なデバイスになります。電源の状態は、ディスプレイに2つのアイコンで示されます。


バッテリーレベル  と  充電率

これらのアイコンを一緒に使用すると、電源の状態が表示されます。

Bright Sunny Day 	 	バッテリーは充電され、太陽によって補充されています。(ノートを参照してください)
	 	バッテリーが少なく、太陽によって充電されています。
Overcast Day 	 	バッテリーは充電されており、これ以上充電する必要はありません。
	 	バッテリーは低いですが、そのレベルを維持しています。
Night 	 	バッテリーは充電されていますが、充電中ではありません。
	 	充電していないとバッテリーが少なくなっています。
LOW Power	 	バッテリーが回復したり、外部の9-30V電源から充電されるまで、機器を昼間の間放置することをお勧めします。完全に放電されたバッテリーは、直射日光の約12時間後に再充電されます。

夜間にディスプレイを使用する場合は、バックライトをレベル1またはオフに切り替えることで、電力使用量を大幅に削減できます。デッキの下にあるディスプレイにバックライトを必要としない場合は、表示されていないディスプレイで電力が無駄にならないように、「ローカル」バックライト制御(15ページ-9ページ参照)に設定することをお勧めします。

 内蔵バッテリーが完全に充電されている場合、ディスプレイがどの程度明るい太陽光にさらされてもそれ以上の充電は不要で、充電レートインジケータは低いままです。

 次の使用前(冬の間)にディスプレイを長期間保管する場合は、保管前にバッテリーが完全に充電されていることを確認してください。必要に応じて、保管の前に24時間、9~30VのDC電源に接続してください。

スリープモード

システムに登録されているボートの速度または変更が12時間ない場合は、節電のためにMicronetディスプレイがオフになります。システムの電源が切れる前に「POWER SAVE」アラームが鳴ります。アラーム音が鳴ってから10秒以内に任意のボタンを押すと、システムの電源がオンのままになります。

バックライトは昼間に操作すると自動的にシャットダウン/オフします。



あなたのMicronetディスプレイを人工の光の近くに置くと、ディスプレイが著しく損傷する恐れがあります。自然光の中でのみ充電してください。

外部電源の適用

ディスプレイがデッキの下に恒久的に取り付けられている場合は、内蔵バッテリーの完全放電を防ぐために外部電源を供給する必要があります。

ディスプレイの背面に接続すると、9V～30VのDC電源を接続できます。船舶のDCシステムに接続することも、9Vバッテリーパックを接続することもできます。クリップブラケットを使用するときではなく、ディスプレイが容器に固定されている場合にのみ永久的な接続を行うことをお勧めします。

9V (PP3) バッテリーに接続すると、内蔵バッテリーが24時間にわたって完全に充電されます。

1.4

安全および廃棄

あなたのMicronetディスプレイにはマンガン二酸化リチウム電池が含まれています。これは正しく処分する必要があります。機器を家庭内の廃棄物に処分しないでください。あなたの国の現行の規制を参照してください。

不明な点がある場合は、Raymarine Ltd.に返却して処分してください。

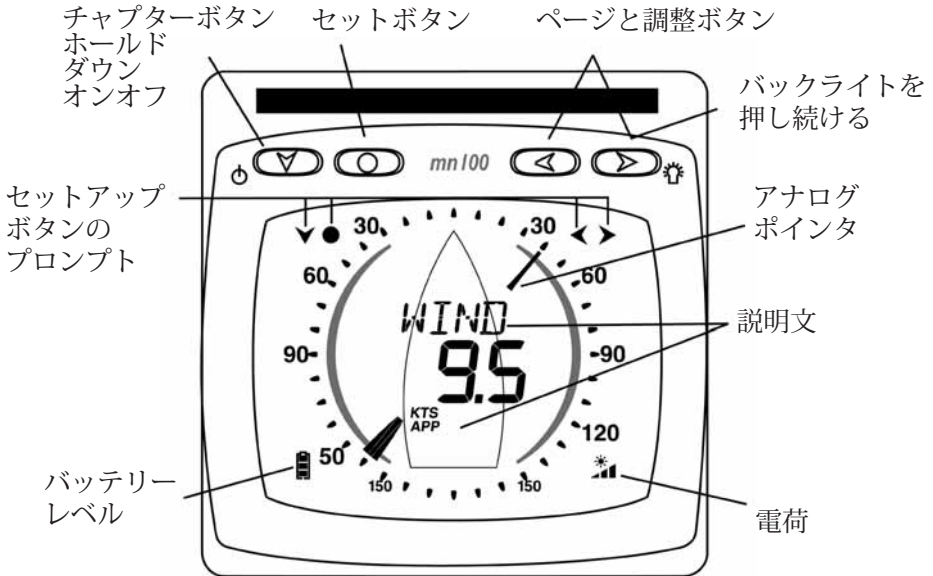
2 操作

重要:



Micronetシステムを使用する前に、黄色の指示書に記載されている「自動ネットワーク」手順と完全なセットアップと較正が正しく実行されていることを確認してください。

2.1 表示情報




アイコンを表示する

以下のアイコンを使用して、KTS、M / S画面上の情報を表示して風速単位を表示します

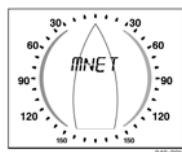
TRU、APPが真または目立つ風を示す

- 角度の度合いを示す

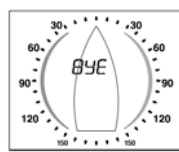
2.2 システムのオン/オフの切り替え

Micronetシステムをオンまたはオフに切り替えるには、いずれかのディスプレイを選択し、 ボタンを2秒間押します。


スイッチをつける



スイッチオフ



2.3 バックライト

ディスプレイの操作のどの段階でも、 ボタンを2秒間押し続けると、照明コントロールにアクセスできます。



 と  ボタンを押すと、バックライトを変更しながら、オフ、1,2,3のオプションがスクロールします。


ディスプレイの設定（15ページの-s9を参照）によっては、システム全体または単一のディスプレイ上のバックライトが変更されます。




バックライトは、ディスプレイの省電力機能の一部として昼間に自動的にオフになり、昼間には動作しません。

2.4 可聴信号とアラーム

操作中の段階で、Micronetのディスプレイに警告音や重要な瞬間を示すビーブ音が鳴ります。

パワーアップ ネットワークの一部として動作すると、ディスプレイは2秒間  ボタンを押してスイッチを入れると、1回のビーブ音を鳴らします。

ボタンを押すたびに1回のビーブ音が鳴ります。 ボタンを2秒間押し続けると、2回目のビーブ音が鳴ります。

Alarm 連続して3回鳴ると、ネットワークアラームが失われたことを示します。アラームはデジタルディスプレイに表示されます。いずれかのボタンを押すとアラームが消えます。p23の障害箇所を参照してください。

2.5 ユーティリティ

キーロック キーロック機能は、偶発的なキー押下から保護し、クルーズレースヨットなどの高性能アプリケーションでの使用を意図しています。誤ってキーを押す可能性のある位置にディスプレイが取り付けられている場合（レースヨットのコンパニオンウェイなど）、次のようにキーロックを有効にすることができます。



- を押し続けるとセットアップが開始されます
- を繰り返し押すと、OPTSの章に移動します
- を繰り返し押して、キーロックページに到着
- を押して、キーロックを有効にする
- を押し続けてセットアップを終了します。



Once keylock is activated, pressing a key causes the unit to give the キーロックが有効になったら、 キーを押すと、ユニットはロック解除キーのプロンプトを表示します。 キーを押し続けると、キーがロック解除されます（これにより、キーが1分間機能した後、キーが自動的に再ロックされます）。

ページ非表示 不要なページを非表示
needs:



- を押し続けるとセットアップが開始されます
- を繰り返し押すと、OPTSのチャプタに到達します
- を繰り返し押して、ページ非表示ページに到達
- を押して、5分間ページ隠蔽を有効にする
- を押し続けてセットアップを終了します。

ページ非表示がアクティブになったら：

- を2秒間押してページを非表示にする
隠すページを選択できる期間は5分です。

Page Unhide ページの非表示を消去し、すべてのページに戻ります。

- を押し続けるとセットアップに入ります
- を繰り返し押すと、OPTSの章に移動します
- を繰り返し押してページ非表示ページに移動します

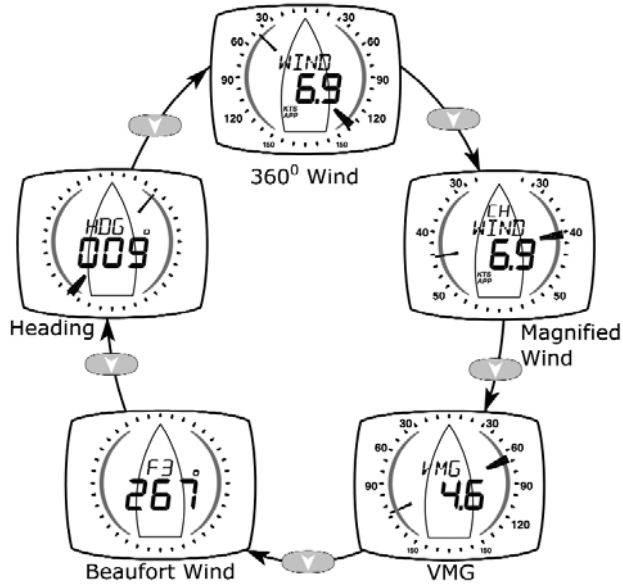


ディスプレイに隠れページ数が表示されます。一時的に押してページを再表示し、ディスプレイは3からカウントダウンします。設定を終了するには、 を長押しします。

2.6 章とページの操作

情報は、チャプターをスクロールするために ▼ ボタンへのボタンを使用し、◀ ボタンと ▶ ボタンはページ間を移動する「章とページ」形式で表示されます。

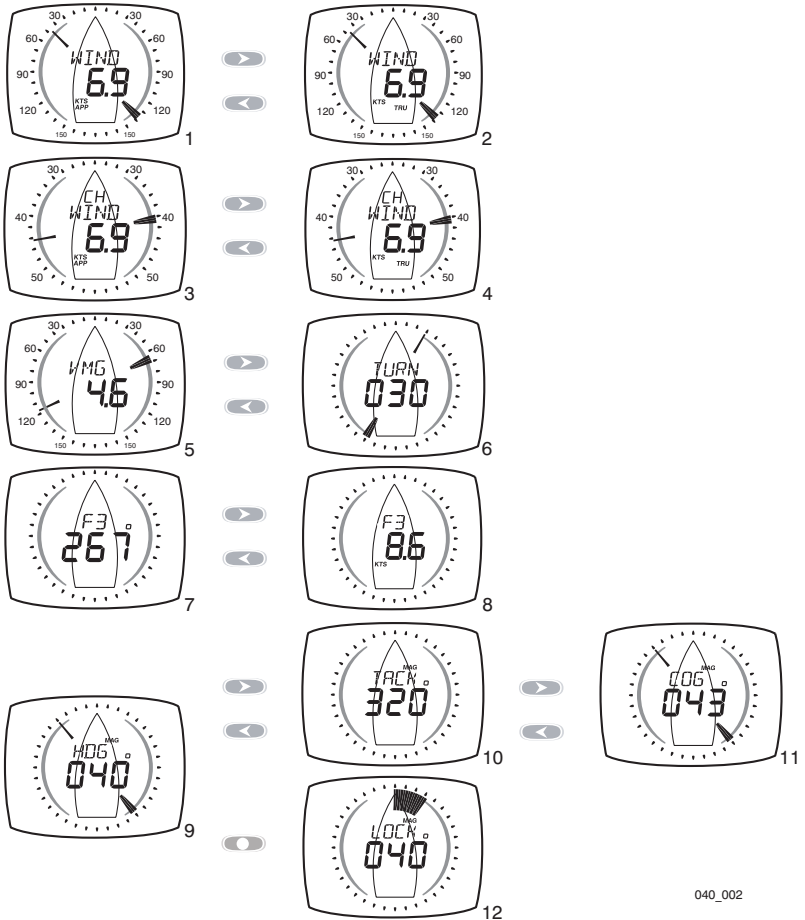
下の図は、情報形式を示しています。



040_001

Default Chapter Selection

いつでも▼ボタンを押すと、次のチャプターに移動し、チャプターをスクロールすると、そのチャプターで最後に選択したページが表示されます。1つのサイクルが完了すると、チャプターとページの選択の両方が最初のページにスクロールします。



040_002

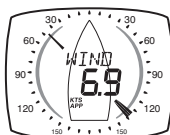
ページ選択

各ページの詳細については、次のページの項目1~12を参照してください。

2.7 章とページの説明360度の風の章

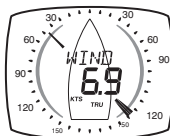
見かけの風の角度と速度

1



ウィンドトランスミッターで測定した60本の船に対する見かけの風の角度と速度。
風の角度は360度で表示されます。

2 真の風の角度と速度

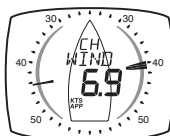


船舶に対する真の風の角度と、90本の船舶を考慮に入れたディスプレイによって計算された真の風速は、水中での速度です。見掛けの風速、角度、船速がこの計算に利用可能でなければなりません。

風の角度は360度で表示されます。

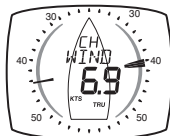
拡大風の章

3 拡大された見かけ上の風の角度と見かけの風速



ウィンドトランスミッターで測定された、船舶に対する見かけの風の角度と速度。
風の角度は26～60度のスケールで表示されます。ダウンウィンド、ボートの後部から測定した風の角度を示すために同じスケールが使用されます。26-58度の風上/風下の範囲外では、ポイントが点滅します。

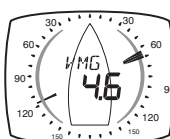
4



船舶に対する真の風の角度と、船舶を考慮に入れたディスプレイによって計算された真の風速は、水中をスピードします。この計算には、風速、角度、ボートの速度が必要です。風の角度は26～60度のスケールで表示されます。ダウンウィンド、ボートの後部から測定した風の角度を示すために同じスケールが使用されます。26-58度の風上/風下の範囲外では、ポイントが点滅します。

VMGの章

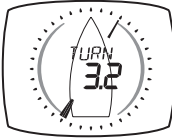
5 VMG - 風向きと風向きが良い



真の風の角度（上記参照）は360度のスケールで表示されます。

テキストの表示には、風上に直接風上の船舶が表示されます。この値は、ボートの速度と真の風の角度からディスプレイによって計算されます。

6 Turn



ポインタは、ボートの船首に対するターゲットウェイポイントの方向を示します。ディスプレイにはウェイポイントまでの距離が表示されます。距離は現在選択されているシステム距離単位（デフォルトの航海距離）で表示されます。



ターンページはGPS COGとBTWを使用しているため、潮汐して考慮されます。先行ポインタが先に進むと、あなたのコースはウェイポイントに直接向いています。ウェイポイントを指差していない可能性があります。

ビューフォート章

7 ビューフォートの風速と方向



地面上の真の風速と方向は、水とコンパス方位を通る船の速度を考慮に入れてディスプレイによって計算されるビューフォートスケールを使用して表示されます。見掛けの風速、角度、ボートスピード、および現在の見出しがこの計算に利用可能でなければなりません。

8 ビューフォート風速と風速（ノット）



地上の風速は、ビューフォートスケールとノットで表示されます。

見出し章



Heading値は、システムのコンパス設定に応じて、磁気または真のいずれかで表示されます。表示される見出し値は、コンパスの較正ルーチンの影響を受けます。システムコンパスの設定と校正は、デジタルまたはデュアルデジタルディスプレイでのみ変更できます。

9 Heading



コンパストラנסデューサによって測定された船舶の現在のコンパス方位。ポインタは北の方向を示します。


10 Tack



船舶が従う方位の方位は、ディスプレイによって計算された風を突き当てる必要があります。この計算を行うには、見掛けの風向きと磁気見出しが利用可能でなければなりません。


11 COG

GPSアンテナで計算された地上の船のコース。ポインタは北の方向を指します。

12 Locked heading


ヘルムスマンが目標の見出しに向かって進むのを助けるには、見出しページから  ボタンを押して、現在の見出しにロックします。

ディスプレイには目標の見出しが度で表示されます。これは  ボタンと  ボタンで増減できます。ターゲットからの見出しの偏差はファンとして表示され、ファンが大きくなればなるほど、コースから離れます。




見出しページに戻るには、 ボタンを押します。

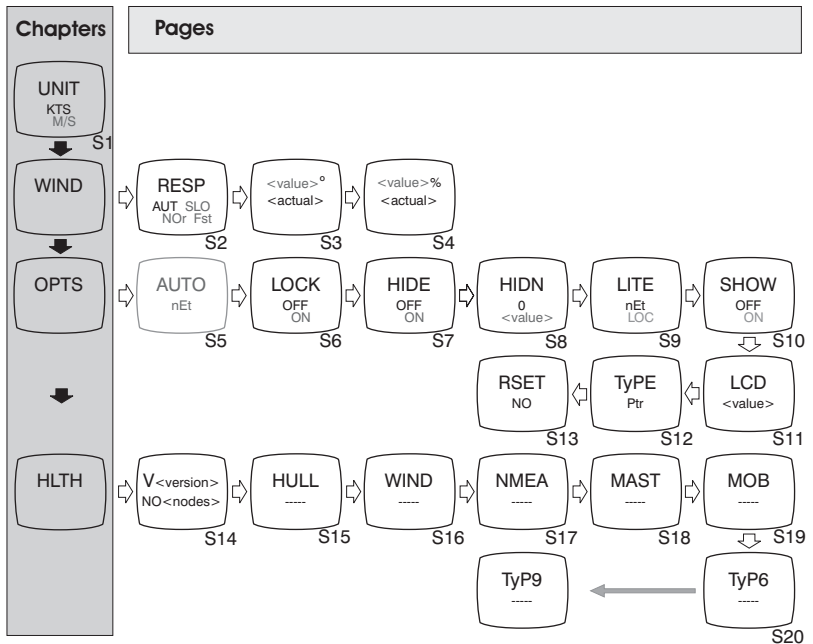
3 セットアップとキャリブレーション


3.1 セットアップとキャリブレーションモード

セットアップとキャリブレーションメニューに入るには、 ボタンを2秒間押し続けます。





3.2 章とページの設定と校正

セットアップとキャリブレーション機能は、 ボタンを使用してチャプターをスクロールし、 および  ボタンを使用してページ間を移動する「章とページ」形式で表示されます。下の図は、情報形式を示しています。







 通常の操作とは異なり、章の見出しページにスクロールしてから別の章に移動する必要があります。

3.3 値の編集

設定を調整するには  ボタンを押します。設定が点滅し、 および  ボタンが値を変更します。新しい設定を保存するには、もう一度  ボタンを押してください。

3.4 設定ページの説明UNIT - Units章





または  ボタンを押して編集するか、またはボタンを押して  と  を変更し、 ボタンをすばやく押して選択した単位を選択します。デフォルト値は太字で示されています。

s1 風速



すべての風速関連情報が表示される単位を設定します。
KTS (ノット) またはM/S (メートル/秒)。

風・風の章

または  ボタンを押して編集するか、またはボタンを押して  と  を変更し、 ボタンをすばやく押して選択した単位を選択します。デフォルト値は太字で示されています。

s2



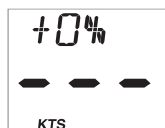
ウィンド表示の更新周期を設定します。
AUt (オート) / SLO (スロー) / nOr (ノーマル) /
FSt (ファスト)

s3 Wind Angle



表示されている見かけ上の風の角度を、ボートに対して実際の風の向きに揃えます。校正については、18ページを参照してください。

s4 Wind Speed



風力発電機からの情報を修正し、見掛け風速が正しく表示されることを保証するパーセンテージ係数を追加します。校正については、18ページを参照してください。

OPTS - オプションの章

○ ボタンをすばやく押しして設定値を切り替えるか、○ ボタンを短く押しして編集し、◀ または ▶ を押しして値を変更し、○ ボタンをすばやく押しして選択した値を選択します。

デフォルト値は太字で示しています。

s5

Auto Networking



システムの電源を入れるのに使用されたディスプレイでのみ使用できます。

詳細については、「自動ネットワーク」を参照してください。

s6

Key Lock



キーロック機能を有効または無効にします。7ページ、セクション2.5を参照してください。

s7

Page Hiding



不要なページを隠すことを許可します。7ページ、セクション2.5を参照してください。

s8

Pages Hidden / Unhide Pages



現在隠されているページ数を表示し、ページ隠蔽機能のクリアを許可します。

7ページ、セクション2.5を参照してください。

s9

Light



ディスプレイにシステムのバックライトまたはそれ自身のバックライトのみを制御するよう指示します。

nEt (ネットワーク) / LOC (ローカル)。

s10 Boat Show

デモ目的でのみ、Micronetシステムの一部としてインストールされていない場合の情報の表示を許可します。オフ。

s11 LCD Contrast

LCDディスプレイの視野角とコントラストを調整して、さまざまな取り付け可能性の下で視認性を向上させます。オプションの値1~7、デフォルトは4です。

s12 Pointer Type

ポインタの幅を切り替えます。視聴位置がアナログディスプレイから1メートル以上離れている場合は、より広いポインタタイプを選択することによって視認性を向上させることができます。

s13 Factory Reset

すべてのキャリブレーション設定を工場出荷時のデフォルト値に戻します。

HLTH - 健康の章**s14 ソフトウェアバージョン/ネットワークノード**

ディスプレイのソフトウェアバージョン、バッテリーレベル、および充電率を表示して、トラブルシューティングや障害検出を支援します。ディスプレイが「マスター」（システムをスイッチオンするために使用されるもの）である場合、システム内のアイテム（ノード）の数が表示されます。

ディスプレイが「スレーブ」（システムによってスイッチオンされている）の場合、「マスター」への信号強度が表示されます。

s15 ハルトランスミッタの信号強度

トラブルシューティングや故障検出を支援するために、ハルトランスミッタのソフトウェアバージョン（小数点の前に）、信号の強さ（小数点以下）、バッテリーの状態（レベルと充電率）を表示します。

s16 風力発電機の信号強度

風力発電機の情報同上記と同じです

s17 ワイヤレス (NMEA) インタフェースの信号強度

無線 (NMEA) インタフェース情報の場合と同じです

s18 マストアングルセンサの信号強度

上記のように、マストアングルセンサー情報用です。

S19 MOBセンサの信号強度

上記のように、MOBセンサー情報用です。

S20 - タイプ6からタイプ9

将来使用するために予約されています。

4 海洋および較正

Micronetシステムが自動接続され、船舶への設置が完了したら、キャリブレーションを実行する必要があります。







 **キャリブレーションが正しく実行されるまで、ディスプレイをナビゲーション目的で使用することは安全ではありません。**

4.1 Wind Calibration



風速と方向の両方をキャリブレーションして、風量計からの読み取り値が正確に表示されるようにすることができます。

Wind Angle Offset


船を風に直接動かす。

 ボタンを2秒間押し続けると設定に入ります。 ボタンを繰り返し押しして風の章にスクロールする  ボタンを押して風の角度オフセットのページに移動する  ボタンを押して編集モードにする  と  ボタンを押して表示された値は000になります。






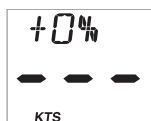
上の数字は入力されたオフセットの度数を示します。
編集モードを終了するには、 ボタンを押します。
セットアップを終了するには、 ボタンを押し続けます。



風速補正

 風速測定値は工場では校正されていますので、正しく表示され、外的要因が誤った測定値を引き起こしていると思われる場合を除き、変更しないでください。修正は、既知の正しい風速が利用できる場合にのみ実行してください。

セットアップに入るには、 ボタンを2秒間押し続けます。
 ボタンを繰り返し押しして、WINDの章にスクロールします。
風速ページに進むには  ボタンを押します。

 ボタンを押して編集モードに入ります。
 と  ボタンを押して、必要なパーセンテージに変更します。



下の数字は、表示されている風速を示します。
編集モードを終了するには、 ボタンを押します。
セットアップを終了するには、 ボタンを押し続けます。

5 インストール

5.1 ツールリストとパーツ

必要なツール 2.5mmまたは5mmドリルビット（電源接続が必要な場合は7mm）

パーツリスト

- パワードリル
- クロスヘッドスクリュードライバー
- 取り付けテンプレート
- バックプレートと2xクリップブラケットの取り付けネジの表示 (3)
- 取付ボルト (3)
- M4スタッド&サムナツツ (3)
- シーリングガスケット (4)
- 両面テープ

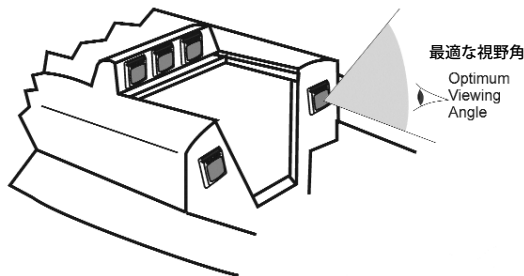
5.2 予防措置とポジショニングアドバイス

取り付け面が平らであることを確認してください。太陽のカバーのためのディスプレイの間のスペースを残す。ブラケットからディスプレイを取り外すためのスペースを残してください（使用されている場合）。

損傷の可能性がある場所（ウインチハンドル、フィート、ワープなど）を避けてください。平らで滑らかな取り付け面を選択し、付属のテンプレートを使用して、Micronetディスプレイを取り付けるのに適した位置を選択してください。視覚の明瞭さとコントロールボタンへのアクセスの容易さを確認してください。ボタンを操作するときに、アームがステアリングホイールのスポークを通過しないようにディスプレイを配置することをお勧めします。



コントラストは、ディスプレイを下から見た夜間に制限されます。表示を上にして表示する位置にディスプレイを取り付けないでください。



034_009

5.3 ブラケットの取り付け（推奨方法）

この方法は、安全上の理由、または使用していないときの損傷または不快感を防止するために、必要に応じてディスプレイを容易に取り外すことを可能にする。

1. 付属の3本のM4ボルトを使用して、バックプレートを表示の背面に取り付けます（図1）。
2. テンプレートに「A」と記された3つの2.5mm穴を開け、付属のタッピングねじを使用して、クリップブラケットを取り付け面にねじ込みます（図2）。
3. ブラケットにディスプレイを平らにして、最終位置より少し上に置き、静かに所定の位置にスライドさせます。ブラケットがディスプレイを所定の位置に固定するので、小さなクリックがあります（図3）。
4. ディスプレイを放すには、ブラケットタブを軽く押し、ディスプレイを上へスライドさせます（図4）。

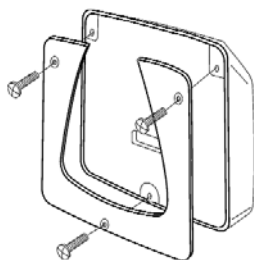


Fig. 1

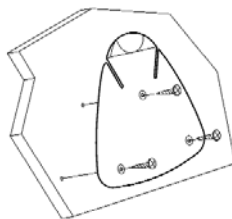


Fig. 2

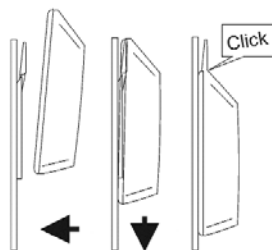


Fig. 3

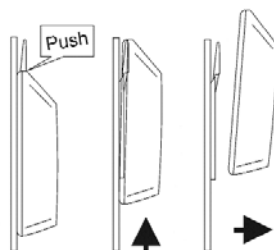


Fig. 4

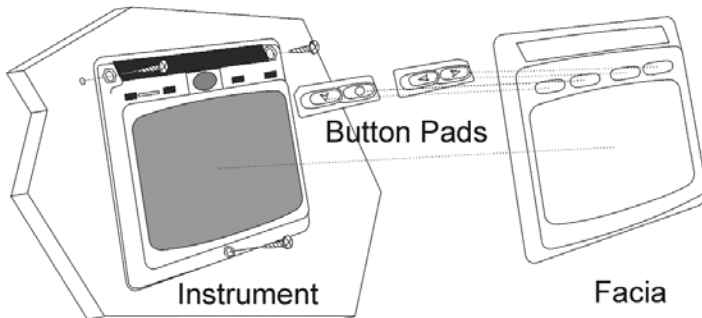
044-004

5.4 表面実装

取り付け面の背面にアクセスできない場所

取り付けは簡単ですが、ボートに手を届かずに取り外すことができません。開始する前に、付属のテンプレートを慎重に配置してください。

1. テンプレートに「B」と記された3つの2.5mm穴を開けます。
 2. ボタンパッドを落とさないよう注意しながら、ディスプレイの本体を本体から慎重にはずします。
- ヒント - フェイシアを取り外す前に、ボタンの前面に粘着テープを貼って、設置中に落下しないようにすると便利です。
3. プラスチックモールディングから3本のキャプティブM4ナットを取り外し、付属の3本のタッピングねじを使用してディスプレイを取り付け面に取り付けます。ネジを締めすぎないように注意してください。モールディングが割れる原因になります。
 4. ディスプレイが完全に水平であることを確認します。ボタンのインサートを正しいスロットに慎重に合わせ、フェイシアを所定の位置に戻します。



034_010

一時的な取り付け

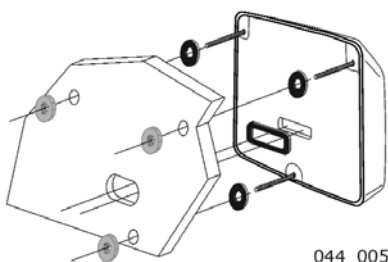
1. 付属の両面テープを使用して、ディスプレイを適切な取り付け面に固定します。ディスプレイが固定されるまで、ディスプレイをしっかりと押しつけてください。

i このメソッドは、一時的な使用にのみ推奨されます。たとえば、穴をあける前に適切な場所を見つける。

取り付け面の背面にアクセスできる場所

この方法は、永続的にマウントされたディスプレイの最大のセキュリティを可能にする。開始する前に、付属のテンプレートを慎重に配置してください。

1. テンプレート上に「B」と記された3つの5mm穴を穿孔する。
2. 4本のM4黄銅のスタッドをディスプレイの後面にねじ込みます。
3. 3つのスタッドを新たに穿孔してディスプレイを所定の位置に置きます。
4. 付属の3本のナットを使用して、ディスプレイが表面に固定されていることを確認してから、最後に締め付けます。



5.5 外部電源接続

ポータブルバッテリーまたは船舶の既存の電源システムのいずれかから、外部の9~30VのDC電源をディスプレイヘッドに接続する。

1. 取り付けテンプレートに「P」と記された7mmの穴を2つドリルし、鋭利なナイフまたは小さなファイルで一緒に滑らかにします。
2. 新しい穴に電源ケーブルを通し、付属のクリンプスペードレセプタクルを取り付けます。
3. ディスプレイの背面からブランキングプラグを取り外して、端子を露出させます。
3. 正しい極性に接続してください。ディスプレイの背面にあるスペーサーにレセプタクルをしっかりと押し込みます。
4. ディスプレイヘッドをしっかりと取り付けます。
5. ケーブルをディスプレイにしっかりと固定します。

6 保守と故障の検出

6.1 ケアとメンテナンス

すべてのMicronet製品は水に対して完全にシールされており、保守はできません。 Micronet製品を分解すると、保証は無効になります。

清掃するには、湿った柔らかい布だけを使用してください。 洗剤、溶剤、研磨剤は使用しないでください。 Micronetディスプレイユニットの損傷を避けるために、使用していないときは付属のソフトパックに保管することをお勧めします。



次の使用の前にディスプレイを長期間保管する場合は（冬の
間）、保管前にバッテリーが完全に充電されていることを確認
してください。必要に応じて、保管の前に24時間、9~30Vの
DC電源に接続してください。

6.2 障害の発見とテクニカルサポート

1つのディスプレイがバッテリー記号を点滅させた後、スイッチをオフにします。

影響を受ける特定のディスプレイでバッテリー残量が少なくなっています。 9~30VのDC電源に接続するか、明るい日光に12時間以上放置して、ディスプレイの内蔵バッテリーを完全に充電します。 特定のディスプレイがシステムマスター*の場合、他のディスプレイはネットワークアラームを失います。 残りのシステムを引き続き使用するには、電源を切り、別のディスプレイからシステムを再起動してください。

データはダッシュとして表示されます。

情報がディスプレイに送信されていません。 風力発電機または船体トランスミッターとディスプレイ間の通信が失われる可能性があります。 どのデジタルディスプレイでも、設定と校正モード（13ページ）に入り、ヘルスチャプターにスクロールします。 Hull and Wind Transmittersの信号レベルを確認してください。

風速は0です。

風力発電機から送信されている情報はゼロ値で受信されています。 マストの上部にある風速計のカップが回っていて、風速が0の場合は、風速計に問題があります。

外部ディスプレイにNMEAデータが表示されません。

どのディスプレイからもセットアップとキャリブレーションモード（13ページ）に入り、ヘルスチャプターまでスクロールしてください。ワイヤレス（NMEA）インターフェイスボックスの信号レベルとバッテリーステータスを確認します。

失われたネットワークのアラーム音



ディスプレイとマスターとの通信が失われたことを示します。マスター*に問題があるか、ディスプレイが有効範囲外に移動しました。電源を節約するために、アラームが鳴った直後にディスプレイの電源が切れます。

- ① 「マスター・インストゥルメント」は、システム全体をパワーアップするために使用されたディスプレイです。この表示は、システムを使用するたびに異なる場合があります。障害が見つかっていて、どのディスプレイがマスターであるか不明な場合は、システムをオフにして、再びオンにします。スイッチを入れたディスプレイがマスターになりました。

7

保証情報

この製品の保証の詳細については、RaymarineのWebサイト（www.raymarine.com）を参照してください。

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions. (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference's that may cause undesirable operation.

Note: the manufacturer is not responsible for any radio or TV interference caused by unauthorized modifications to this equipment. Such modifications could void the user's authority to operate the equipment.



Raymarine Ltd hereby declare that the mn100 Analogue Display is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.



UU040-GB-r ev11

Raymarine®
A FLIR COMPANY

デジタル、デュアルデジタル&
アナログディスプレイのクイック
スタートガイド

日本語

Français

Deutsch

Nederlands

Español

Italiano

通知：

Micronetファミリおよびその他の有用な情報についての詳しい説明は、製品に付属のCD-ROMまたはRaymarineのWebサイト (www.raymarine.com) を参照してください。

注意：

Micronetは著作権を所有しています。また、CD-Romは、Raymarineのウェブサイトwww.raymarine.comにアクセスすることができません。

ヒント：

Micronet-Familieとその最新の情報を入手するには、CD-ROMまたはインターネットサイトwww.raymarine.comを参照してください。

注意：

ウェブサイトwww.raymarine.comのCD-ROM製品を使用し、Micronetの計測器ファミリの情報を入手してください。

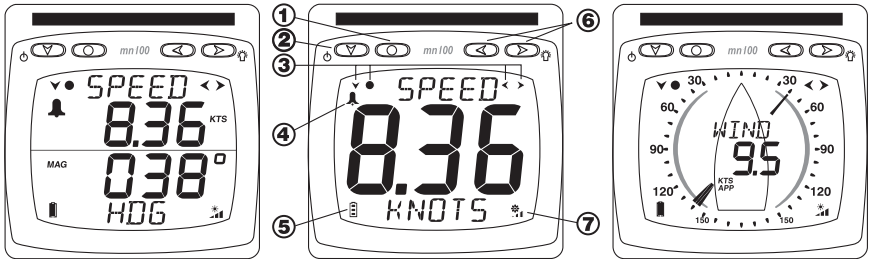
注意：

その文書は、Raymarineとwww.raymarine.comのウェブサイトを参照してください。

注意：

RaymarineのためのCD-ROM fornito con il prodottoの情報を提供しているMicronetの詳細情報：www.raymarine.com

Display Features

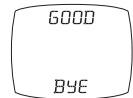


- ① セットボタン
- ② チャプターボタン
- ③ セットアップボタンのプロンプト
- ④ アラームインジケータ
- ⑤ バッテリーレベル
- ⑥ ページと調整ボタン
- ⑦ 充電率

オンとオフの切り替え

ディスプレイをオンまたはオフに切り替える

には、 ボタンを2秒間押し続けます



バックライト

ディスプレイのバックライトを調整するには、 ボタンを2秒間押し続けます。次に、 ボタンと ボタンを使ってOFFまたはレベル1,2,3を選択します。



電力を節約するために、セットアップを使用して個々のディスプレイをローカルバックライト制御に設定することができます。

それ以外の場合、バックライト機能はネットワーク上のすべてのディスプレイのバックライトレベルを設定します。

電源管理とバッテリー寿命

電源状態は、バッテリーレベル と充電レート の2つのアイコンで表示されます。

バーの数が多いほど、バッテリーレベル/充電レートが高くなります。



注：内蔵バッテリーが完全に充電されている場合、充電率アイコンは常に低値を示します。

人工光はバッテリーを充電しません。人工光の近くにMicronetディスプレイを置くと、ディスプレイが大きく損傷します。

自然光の中でのみ充電してください。

次の使用の前にディスプレイを長期間保管する場合は、保管の前にバッテリーが完全に充電されていることを確認してください。必要に応じて、外部電源コードを使用して、保管の24時間前に9~30VのDC電源に接続します。

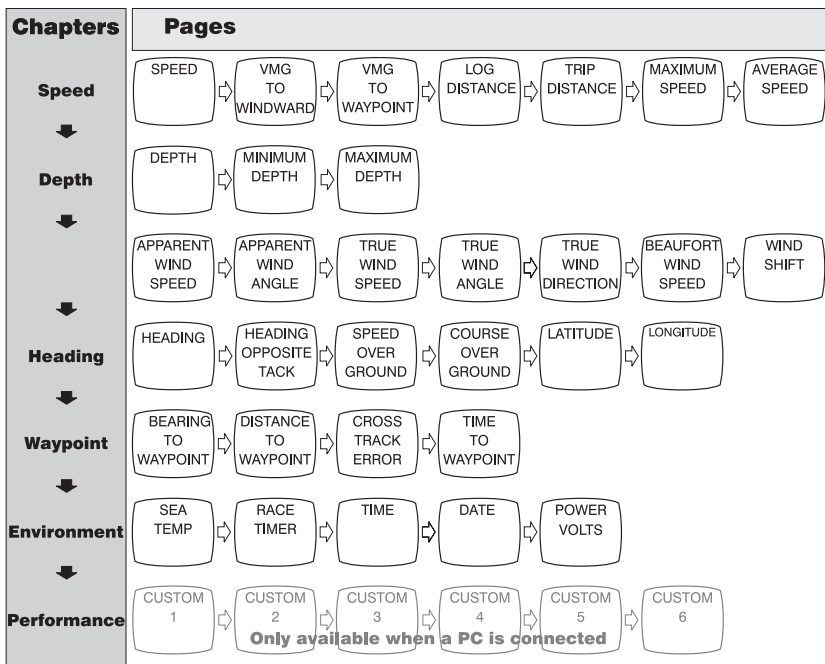
章とページ

インストゥルメントのデータ画面は、一連の章で構成され、それぞれに関連情報のページが含まれています。

- ▼ ボタンは章をスクロールします。
- ▶ と ◀ ボタンはページ間を前後にスクロールします。

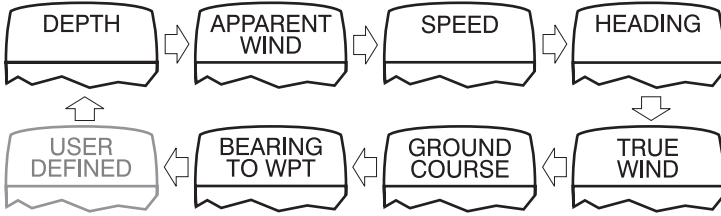
新しい章が選択されると、その章で最後に選択されたデータページが表示されます。ページを非表示にして、必要に応じて表示を構成できます。詳しくは、全ユーザーガイドを参照してください。

デジタルディスプレイ - 章とページの構成



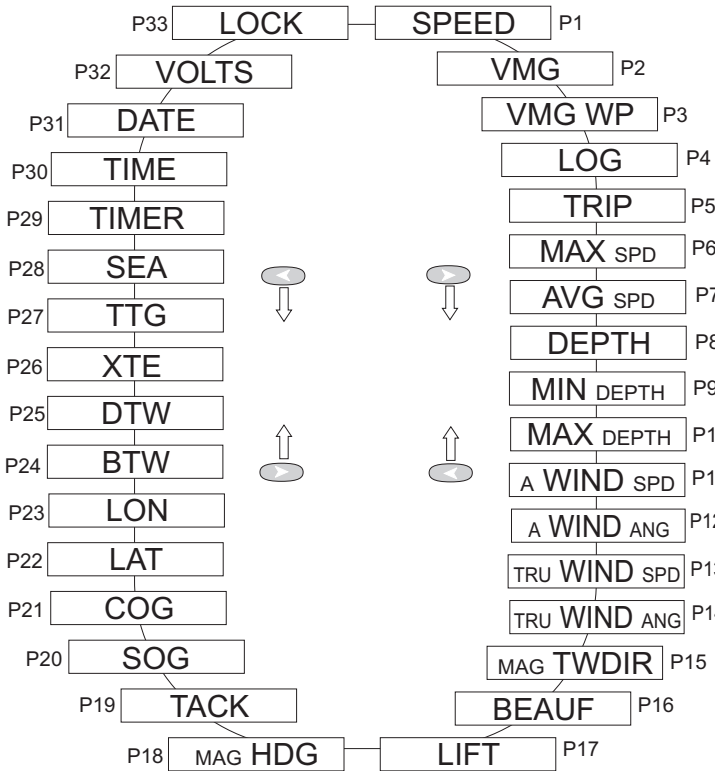
ページボタンを繰り返し押すと、選択したチャプターのページが表示されます。

デュアルデジタルディスプレイ - 章構成 (上部ウィンドウ)



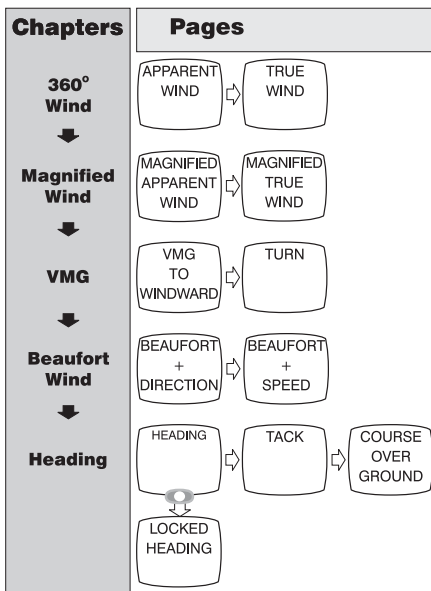
注：ユーザー定義の章は、セットアップ時に構成されている場合にのみ表示されます。詳しくは、ユーザーガイド全体を参照してください。

デュアルデジタルディスプレイ - ページ構成 (下のウィンドウ)



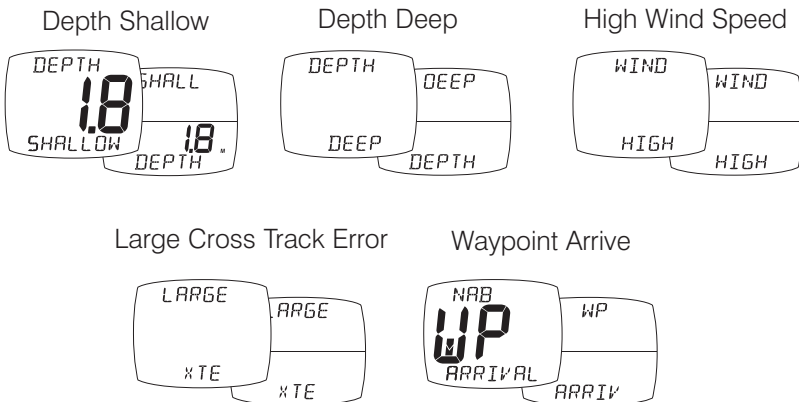
ページボタンは、利用可能なすべてのデータページを順番に下のペインを循環させます。つまり、任意のデータページを任意の章と共に表示することができます。

アナログディスプレイ - 章とページの構成



Alarms

セットアップで多数のデータアラームを設定できます。5ページを参照してください。注：アラームはアナログディスプレイではサポートされていません。



セットアップとキャリブレーション

セットアップとキャリブレーションの表示は章にまとめられており、各章には多数の関連ページが含まれています。

デジタルおよびデュアルデジタル設定ページ

▼ ボタンは章をスクロールします。

▶ と ◀ ボタンはページ間を前後にスクロールします。

章を変更する前に、章の見出しページまでスクロールしてください

メモリ値のリセット:

○ を押してリセットします。

Editing Values:

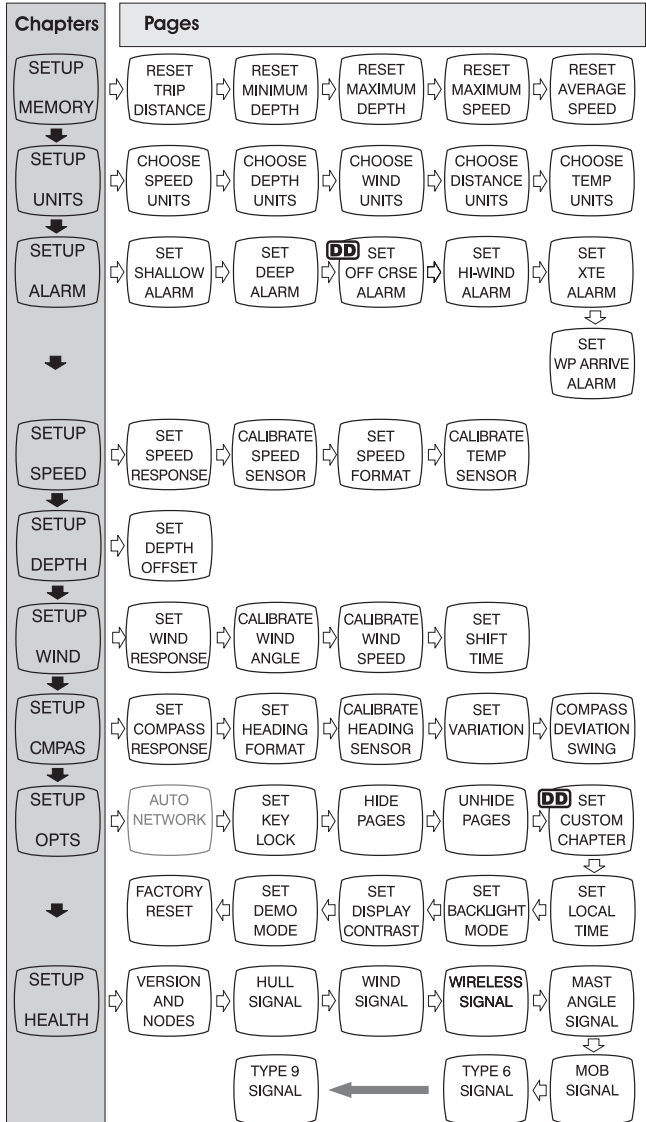
ページ内で、○ を押して設定を変更します。設定が点滅します。

◀ または ▶ を押して設定を調整します。

新しい設定を保存するときに ○ を押します。

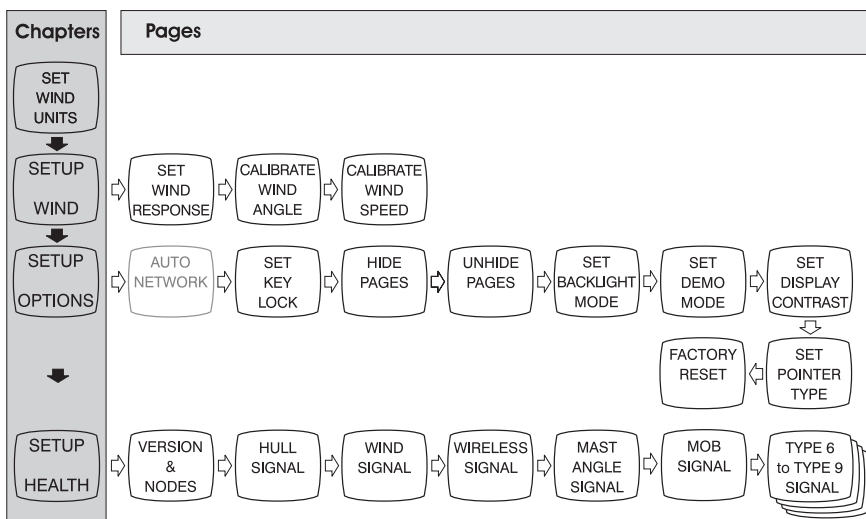
ON / OFF 選択のトグル:

○ を押して ON と OFF を切り替えます。

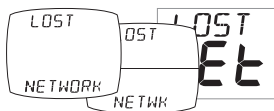


DD Available on Dual Digital Display only

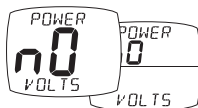
アナログディスプレイセットアップページ



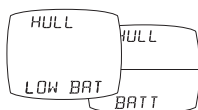
トラブルシューティング



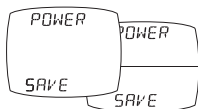
失われたネットワークのアラーム音: マスターディスプレイが正しく動作していて、影響を受けるディスプレイが範囲内にあることを確認してください。
 注: これはアナログディスプレイでサポートされている唯一のアラームです



No Voltsアラーム音: ハルトランスミッターとワイヤレス (NMEA) インタフェースが9~30VのDC電源に接続されていることを確認してください。



低バッテリーアラーム音: セットアップ/ヘルスに行って、ハル・トランスミッター/ワイヤレス (NMEA) インタフェース/風力トランスミッターのバッテリー・レベルをアラーム・ディスプレイの表示に従って確認してください。必要に応じて、明るい日差しの中で充電または置く。



パワーセーブアラーム音: ネットワーク上にデータがない場合、システムは電源を節約するために終了します。キャンセルするには、いずれかのボタンを押します。



UU072- r ev 02